

各位

2022年11月吉日

一般財団法人 世界防災フォーラム サポーター会員についてのご案内

2015年、宮城県仙台市で「第3回国連防災世界会議」が開催されました。この第3回国連防災世界会議の成果文書として採択された「仙台防災枠組2015-2030」では、4つの優先行動と7つのターゲットが合意されました。

この仙台防災枠組の実施の推進にあたり、防災(BOSAI)の概念と防災投資の重要性を広く世界に啓発していくために、2017年から「World BOSAI Forum」を隔年で開催することになりました。スイスのダボスで開催される防災ダボス会議とも連携し、世界中の産業界、学術界、政府、国際機関、NGO、メディア、宗教団体、一般市民など様々なステークホルダーが本フォーラムに参加しています。これまで防災の国際会議は国連や学術が主導するものは多く開催されていましたが、このように多様な参加者が一同に会して課題を共有し、議論し、解決策を希求する機会はありませんでした。「World BOSAI Forum」の開催の意義はまさにここにあります。

過去にフォーラムを開催した2017年と2019年(2021年はコロナ禍のため延伸)には、世界40ヵ国から約1000名の方々が集い、BOSAIについて議論し、成果を世界発信しました。2018年12月には、この「World BOSAI Forum」の企画運営を安定させるために、「一般財団法人・世界防災フォーラム」を設立しました。本財団は、隔年開催する「World BOSAI Forum」以外にも、BOSAIの考え方を世界各地の政策や社会、文化に浸透させることを目的に国内外で活動しています。

また、BOSAIを進めていくためには、世界中の災害被害データを集め、分析し、政策に反映していくことが重要です。財団では東北大学災害科学国際研究所災害統計グローバルセンター(センター長小野裕一東北大学教授)と連携し、データの収集分析についても取り組んでいます。

大災害は瞬時に人命や財産のみならず、都市のインフラ、サービス機能も奪い日常生活やコミュニティに瞬時に大きな打撃を与えます。気候変動の悪影響は災害の発生数の増加や深刻化を加速させるという形で牙をむきつつあります。ですから持続可能な開発・SDGsの達成にはBOSAIは不可欠です。さらに2030年、ポストSDGsにおいて、BOSAIを一つのゴールとして確立し、世界に浸透させることを目指し、財団の活動を強化していく所存です。

つきましては、より多くの企業や団体の皆様からのご支援を賜りたく、本プログラムの検討をお願いいたく存じます。

最後になりますが、貴社のますますのご発展を心より祈念しております。

一般財団法人世界防災フォーラム
代表理事 小野 裕一

(別添) サポーター会員制度について

1. 趣旨

・BOSAI を世界に広げるための活動を、幅広い分野の方々と連携しながら行うために特定の業種に偏らない、民間セクターの方々を対象としたサポーター会員制度を設立します。

・活動に関し自立性、独立性を守り、自由な活動を活発に展開していくためには、特定の財源に偏らない多様で自由な財源が必要と考えております。財団の活動資金をサポート会員の会費で賄うことにより、活動の自由を担保したいと考えております。

2. 会費、特典等

会員は会費のランクにより特典がございます。本業と結びついた日々の企業活動や CSR 活動にお役立てください。

特典／年額	Gold 3,000 千円	Silver 500 千円	Bronze 100 千円	備考
WBF 時の国際諮問委員会オ ブザーバー参加	○	-	-	
WBF でのセッション開催権	○	-	-	ご希望される社のみ
WBF 参加登録料割引	10 名	5 名	1 名	5 万円/3 日間を無償提供
理事、評議員としての参画	○	-	-	
代表理事定期訪問	年 1 回	-	-	貴社へ訪問
社内 event 等への協力	年 1 回			代表理事の講演等
社内 event 等への協力	-	年 1 回	-	同上、オンライン参加
動画視聴	無制限	10 名	2 名	WBF のコンテンツ視聴、CPD 社員教育（今後予定）
懇親会や fieldtrip への参加	○	○	○	別途会費制・随時実施
会報やノベルティの配布	○	○	○	入会時および随時
WBF ロゴ活用	○	○	○	貴社での WBF ロゴ使用
WBF ホームページへの掲載	○	○	○	

※その他、御社のビジネスやプロモーションに役立つ海外含む人脈の紹介や、マッチングなど可能な範囲で対応します。

※金額だけでなく、企業様の人脈による寄付先のご紹介、連携先、事業などの紹介、人材協力など、寄付金だけでなくご支援についてもご検討いただければ幸いです。

(別添) 財団の活動内容について

■名称

一般財団法人 世界防災フォーラム (World Bosai Forum Foundation)

■事務所

〒980-8572 仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1-E501

東北大学災害科学国際研究所内

■目的および事業

1. 世界防災フォーラムの開催
2. 世界の災害リスクの把握、分析及びその報告書の作成
3. 世界の防災教育、啓発活動の支援
4. その他前号に関する事業

■組織

代表理事 小野 裕一 東北大学災害科学国際研究所 教授
理事 福島 洋 東北大学災害科学国際研究所 准教授
理事 大野 晋 東北大学災害科学国際研究所 准教授
理事 小尾 尚子 国際基督教大学 NOHA プログラムコーディネーター
理事 細江 絵梨 (一社)根浜 MIND と協業し事業創造に取り組む
理事 鈴木 さち 日本信託基金コーディネーター、世界銀行

評議員 高松 宏行 パシフィックコンサルタンツ株式会社
評議員 蛭間 芳樹 日本政策投資銀行
評議員 濱田 尚 日本たばこ産業株式会社

監事 手島 貴弘 税理士、公認会計士、手島会計事務所

■沿革

2011年3月11日 東日本大震災発生
2012年4月 東北大学災害科学国際研究所 設立
2015年3月 第3回国連防災会議仙台 開催
2017年11月 第一回世界防災フォーラム 開催
2018年12月18日 一般財団法人 世界防災フォーラム 設立
2019年11月 第二回世界防災フォーラム開催

■事務局

事務局長	吉野 賢
副事務局長	坂本 壮 (パシフィックコンサルタンツ株式会社)
総務担当	松浦 妙子
代表理事	小野裕一 (東北大学災害科学国際研究所)

■World BOSA Forum 開催以外の特筆すべき活動等

・ World BOSAI Walk Tohoku+10

2022年2月から4月にかけて、財団の事務局員と少数のゲストで、東日本大震災で主として津波で大きな被害を受けた東北の沿岸部を福島県いわき市から青森県八戸市まで徒歩で踏破しました。道中、復興に尽力した人や団体に100以上のインタビューをし、SNS (Twitter、Facebook、YouTube) で世界に発信しています。今後、その様子を映像化や書籍化して取りまとめる予定です。

・ US-Japan Workshop on Needs, Priorities and Partnerships to Advance Human-Centered Data for Resilience

科学技術振興機構 (JST) と米国国立科学財団 (NSF) は、より人間中心のデータの活用を促進することで災害に強い社会を構築するため、日米間の防災研究者の対話の場が設けられました。

自然災害のモデリングやシミュレーション、建築物などの耐震性など技術の著しい進歩にもかかわらず、災害に対する強靭さとは、災害に直面する「人」の問題となっています。たとえば、私たちがどこに住み、どのように建物を建てるかといった人の判断が、私たちが災害に直面するリスクを作り出してきました。

このように、自然現象が大災害になるかどうかは、最終的には人間の行動や意思決定によるところが大きな要因となっています。データやテクノロジーがどうすれば「人」の安全により役立つか？また、それを実現する研究インフラはなんなのか？といったことを日米の研究者で議論していきます。代表理事の小野裕一は、このワークショップで日本側の共同議長役を担っています。

以 上

一般財団法人世界防災フォーラム
代表理事 小野 裕一 宛

(送付先) 世界防災フォーラム事務局
info@worldbosaiforum.com

年 月 日

世界防災フォーラムサポート会員申込書

【申込内容】 チェックボックスに印をつけてください。

ゴールド (300 万円/年) シルバー (50 万円/年) ブロンズ (10 万円/年)

(フリガナ)
貴社名

(フリガナ)
ご担当者

郵便番号・住所

電話番号

メールアドレス

詳細については、(一財)世界防災フォーラム事務局より別途ご連絡申し上げます。

担当 吉野・松浦 電話 022-263-1688

メール info@worldbosaiforum.com